

私立高等学校生徒の就職機会の確保について

福島県中小企業団体中央会会長 佐久間 信幸 様をはじめ福島県中小企業団体中央会の皆様には、日頃より、本県私学の振興に格別のご理解とご支援を賜り、厚くお御礼申し上げます。

お陰様をもちまして、今年3月の私立高等学校新規卒業者の就職は、99.6%という高い内定実績となりました。皆様方の力強いご支援に重ねて御礼申し上げます。

さて、我々私立学校は、それぞれに「建学の精神」を持ち、それに培われた特色ある教育、多様性や伝統が生きついでしております。そして、生徒一人ひとりの将来を考え、情報化や国際化など時代のニーズも的確に捉えた私学ならではの教育を進めており、県民の期待に応えられる豊かな人間性とチャレンジ精神に溢れた人材の育成に全力を傾注して取り組んでいるところであります。

私学に学ぶ生徒の雇用対策は、県当局をはじめ関係機関と連携を密にして進めておりますが、実際には、皆様方から雇用の場を広く提供していただくことが何よりも重要と考えております。

大震災から15年3か月が過ぎ、原発避難からふるさとへの帰還も各地で実現してきておりますが、まだ復興は道半ばであります。こうした状況の中、これから福島県の復興を担う若者が「ふるさと福島」に希望を持ち、それぞれの夢を叶える活躍ができますよう、貴台におかれましては、傘下の各団体の皆様方に一層の求人拡大をご周知いただければと思います。

公教育の一翼を担う我々私学の取り組みに改めてご理解いただきますとともに、私立高等学校に学ぶ生徒たちの就職機会の確保に更なるご支援を賜りますよう強くお願い申し上げます。